

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 。 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成19年10月25日
事業所名	はるすのお家 尾張旭
ユニット名	爛々(2階)
事業所番号	2374500607
記入者名	職名 管理者 氏名 福本 弥生
連絡先電話番号	0561-54-5508

自 己 評 価 票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○ 利用者と共に人生の経験をしたかたの知恵を頂いて、暮らしやすい職場生活を作り上げている。法人のものとは別にグループホーム独自の理念がある		
2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○ 理念は玄関に掲示してある 十分ではないが毎日少しずつ取り組んでいる。ミーティング時に復唱している。介護計画にも反映されている	○	○ 指導・アドバイス、時にはケアの取り組み方など教えていただいています
3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○ 玄関に掲示し、みやすいようにしている。○ 管理者はご家族の方に月々日常の様子を送り、面会時にはこまめに報告しています。○ ホームページにのせている。○ 事業所内に掲示している		○ 一生懸命に管理者が取り組んでいる
2. 地域との支えあい				
4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○ 挨拶をする。○ バーベキュー大会や行事のあるときは気軽に立ち寄ってもらえるように声をかけている。○ 隣近所の付き合いは行っている。○ 外出時、ゴミ出し時などはこちらから積極的にあいさつをしている。○ 利用者の方から話しかけられることもあり、おしゃべりを楽しんでいる	○	○ 月に一度、道路のゴミ集め職員と入居者として行っていきたい
5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○ 自治会・行事等に参加している。○ 祭り、地域の活動(棒の手など)、地域の盆踊り大会に参加している。○ リサイクルマーケットに入居者共に参加していた。○ スクールガードでの活動。○ ゴミ広いの参加	○	○ 町内会の運動会に参加させていただいてるが、今後も参加していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	●あまり取組んでいない○運営推進会議を通して市の職員等と今後何ができるのかを話し合っている○スクールガードやこども110の家になっている○尾張旭市の市民祭でフリーマーケットに参加させていただき、楽しませてもらっている	○	○今後もできることを見つけていくと同時に、地域のニーズをくみ取っていききたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	○外部評価の結果を自由に見られるように玄関にファイリングしておいてある○年に一回の外部評価の結果を見て取り組んでいる○良いと言われたことも積極的に取り組んでいる○目標を決め改善できるように取り組んでいる	○	○各々の評価から具体的なアドバイス、意見を聞きたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○ご家族からの意見を聞き、向上するようにしている○2ヶ月に1回運営推進会議が開催され、その場では話し合い、意見を出し合っている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	○管理者は度々市役所へ出かけたり、地域の連絡協議会などで情報を入れている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	○管理者は利用者様、ご家族に安心して生活できる事業所であるように職員に話をしている		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○虐待についてのニュース(新聞・テレビでの)は朝礼時など折に触れて知らされ、自施設で起こらないように注意がある○防止に努めているし、私どもの事業所には虐待などありません	○	○虐待につながってしまう事がないように職員に話をする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○ 入居前の説明のときに行っている○ 管理者が行っている		
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○ 苦情受付表を作っている○ 利用者の不満、苦情を聞き職員に連絡申し送りをしている	○	○ ミーティング時に報告があり、改善できるよう話し合っている
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	○ 毎月、文章を送っている○ お小遣い帳を作成しご家族に個々に報告みて頂いている○ ハルス通信の発行○ 体調に変化があればその都度すぐに連絡している		
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○ 苦情受付表を作っている○ 不満、意見をお聞きして理解・納得を図っています○ 家族などの意見にはみんなで話し合い、納得して頂ける（良い解決策法）を考えている	○	ミーティング時に報告があり、改善できるよう話し合っている
16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○ 意見を言いやすい雰囲気がある○ 月に回のミーティング・合同ミーティングを設け意見の場を開いています○ ミーティング時に取り上げ意見交換ができている		
17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○ 行事や外出にあわせてスタッフの配置を変更したりしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	○配慮している○長い同行期間を取る事により、利用者が職員に馴染みやすい○別の利用者のことも把握できるように申し送りをしている		
5.人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○研修に行く機会がある○勉強会の開催○同行研修		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○行事に誘っている○他施設からも行事の際に声がかかり参加をしている(芋ほりなど)	○	○同業者との交流の機会を作って欲しい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○休憩時間を離れた事務所を使用してよいことになっている○取り組んでいる	○	○悩み事、相談事のポストを作成していただいて、ミーティング時にみんなで意見を把握していけるようにしたい○ストレス軽減に努められることもあると思います○スタッフが悩みを話せる場を作って行きたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○本を置いたりセミナーのお知らせを張り出したりしてある○自己評価をして面談を行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○ 入所前の面談の際に本人、家族から希望や想いを伺っている○入居後1ヶ月で利用者の願いが満たされているか見直しを図っている○利用者さんの話を聞き、汲み取れるよう心掛けている	
24	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○ 入所前の面談の際に本人、家族から希望や想いを伺っている○面会時やその都度受け入れ、しっかり様子観察をさせていただく	
25	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○ 介護計画を作成している○アセスメントに沿ってご家族が安心されるように職員、管理者、努力しています	
26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○ 入居を前提としてお試し利用(宿泊・デイ)を活用していただき、入居前にお家の雰囲気に慣れていただくようにしている○家族様と話あい安心されるお家作りに取り組んでいる○分からない事は尋ね、一緒に行動していく上で無理強いせず徐々にできる事を把握していく	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀しさを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○ ひとつのことを行うときにどのようにしたら良 いかたずねるようにしている。日々、食事準備時 や入浴時、外出時、買い物時などささえあうよう に関係作りをしている。本人のできる事を一緒に おこなう、または見守る。職員が本人に何かを頼 み助けてもらう事もある。家事全般を共にしてい ただき、昔話や昔の知恵など興味のわく話が飛び 交う。喜怒哀楽を共にしている	
28	○ 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○ 十分ではないが本人を支えていく気持ちがある ○ 面会時に共に過ごす事で新しい発見があったり、 一喜一憂したり情報交換できている。相談する事 で介護に解決策が見出せる事もあり	
29	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○ 見守っている ● 本人と家族の関係があまり分 かっていない	
30	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○ いつでも面会に来ていただけるよう、また、サ イド面会に来ていただけるように心地よい対応を 心がけている。本人の思い出の場所に外出したり 十分ではないが努めています。利用者が以前の習 い事を続けられるよう支援している。家族の名前 を出して話題を提供している。写真を見たり話を 伺うことで和まれる	○ ○ 思い出の場所へ外出したり、食事に行ったり喜 んでいただけるよう取り組んでいる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○それぞれの個性を尊重し、9名全員ではなく数人の人との関係を始めに作れるように支援している。○毎日の様子を細かく記録に書く。○ちょっとしたエピソードなども書くことによりスタッフが利用者同士の関係を把握しやすい。○気の合う人は二人だと上手に付き合えそうな場合、その時の状態に合わせて声が消している	○	○スタッフの声のかけ方、関わり方を工夫する事で利用者同士がもっとイキイキ過せるのでは
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている			
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○アセスメントをミーティング時にスタッフで行い、それに基づいてプランを立てている。○モニタリングを通し希望に近づけるように努力している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○入居時にセンター方式の記入をお願いして、その後の介護に生かしている。○昔を知る事で、もっと利用者に近づけるでしょうし対応も広がると思う。○介護記録を見ることで今までの経過の把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○把握するように十分努めている。○変化が生じた場合は介護記録に記入し申し送りを行っている。○心身の変化は見落としのないように日頃と違うことには気宇録に残している		○一日のうちにも変化があり難しいが、一日を大切に過していただけるように努力したい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	○	○ 3ヶ月に1度の見直しにスタッフ全員が参加しているが、今後も継続していきたい
37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	○ 著しい変化があった際にはその都度変更している
38	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○ 支援している ○ 外出、受診などの支援	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○ 生活保護を受けていても入所できる ○ 離設の際は消防・警察にも協力をしてもらっている		
41	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○ 往診または受診を行っている ○ 往診を受けるとここに受診の介助を受ける方がいる		
44	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	○日常の健康管理、個々の連絡申し送り様子観察している○分からない事は相談するようにしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	○管理者看護職員の方が対応し、連絡受けて支援行えています○情報を共有し対応している		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○出来るだけ情報や連携し合い支援に取り組んでいます		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○申し送り、連絡帳記載されており支援受けています		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	○管理者、各階のフロアー長で十分な話し合いが行われている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○ 気配り、配慮行っています ● していない	
51	○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○ 行っています ○ 日々の食事やおやつの内容や着るものなど自分で選んで決められるような働きかけをしている ○ まず本人に相談して行動している (入浴、買い物、食事等) ○ 言葉で分かりづらい事は行動で示したり物を見せたり決めるまでの道をつくる	○ ○ 一人ひとりの対応、傾聴は入浴時が一番しやすく取組んでいる
52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	● 十分行えていません ○ 全員の希望には添えないが、要望があった場合は数人を誘ってみることで実現への支援をしている ● 職員の都合を優先している事もある ○ 一人ひとりのペースを大切にするように心掛けている	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○ 季節に応じた服装、温度差時も衣服を脱いだり、着たり、身だしなみに気配り行っています ○ 身支度の時にはできる限り自分で選んでもらう ○ ホームでの散髪を楽しみにしている方も居る ○ 似合った格好の時などは声をかけている ○ 家族が散髪してくださる方も居る	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○ 何が食べたいのか利用者様にお聞きして食事の準備、材料切って頂いている。ここの力に合わせてできうる事はしていただき、一緒に準備等している(負担にならないよう強制はしない)○ 献立も一緒に決めている。食器拭きや食器洗い、盛り付け配膳して頂いている	○	○ 食事の準備は一部の方のみが関わることが多いので、声をかけて少しでも何かしていただける方が増えるように取り組みたい
55	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○ 毎日とはなかなか無理で午前中のおやつは少々軽いものにし、三時の出来るだけ手作りで楽しんで召し上がっていただくようにしています。個人用の段が冷蔵庫にある。献立を決めるときには意見を聞く。本人の嗜好に合わせた代替食の提供などもしている。量が足りない方はその都度補充している		
56	○ 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○ 時間をみて声をかけ、スタッフ同士の声かけ、排泄チェック表を参考に声をかけている。○ 排泄記録により、ここの排泄のパターンを知り、適切な声かけができるようにしている。○ 時間を見ながら誘導している		
57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○ 入浴を楽しんでいる方もいるし、浴室まで誘導し二人で介助している人もいる。○ タイミングが合わず難しい方もいる。○ 本人の意向を尊重して入浴している。○ 気が向かない時は一人だけ夜入る場合もある。○ スタッフの都合で声をかけている場合もある	○	○ 浴槽にてゆったり入浴していただきたい。○ スタッフ同士声をかけて昨日は入れなかった人は入れてあげるように心がける
58	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○ 夜間、巡視行い安心して眠って頂いています。○ 消灯時間を決めていない。○ 外の空気に触れていただき、散歩に出たりすることで安眠や良眠につなげている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	●まだまだ十分な支援は出来ていない○食事やおやつ、準備、片付け洗濯などの家事の中でそれぞれができる事を見つけ、その都度声をかけて一緒に行っている意欲的な方は色々な事に挑戦して頂いている○外食、散歩、歌を歌うなどしている	○ ○意思表示の少ない方、意欲のない方への支援を持って考えていかななくてはならない
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○一人ひとりお金所持していないが、預かっているお小遣いで買い物のときに払ってもらったりしている○一部、自分のお金を持っている人もいる○望まれる方には支援している(声かけ)○欲しいものがあれば自分で買いに出かけられるように支援している	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○計画をたてて外出支援十分に取り組んでいる○買い物、散歩などに一緒に出かけ壁に記録を貼っている○買い物、散歩のいいしゅつひょうがあり、全員が偏りなく外出できるように考慮されている●その日の希望には応えられていない	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○年に数回、なじみの所へ出かけている○外出計画を立て実行○花見、温泉、紅葉、イチゴ狩りなど季節ごとに行っている○ご家族との外出もある	○ ○近場で遠足に行きたい○みんなでいける用になりたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○電話をかけたいときにかけていただけるように支援している○手紙を季節の折に書かれる方もいる○声かけはしているが本人の意志に任せている	○利用者の方からご家族へ一枚でも年賀状など出せるように支援したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64	- 家族や馴染みの人の訪問支援 - 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時には再び来ていただけるよう気持ちよい態度で接するようにしている。いつでも気軽に面会できる居心地よいホームだと思う。いつ誰が訪問してくださっても気持ちよく対応している。その際、好きな場所で過していただいている。リビングまたは居室でゆっくり過していただくようにしている	○	
(4) 安心と安全を支える支援				
65	- 身体拘束をしないケアの実践 - 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徘徊がありリスクの高い方でも常に見守る事によって身体拘束をしないでケアしている		
66	- 鍵をかけないケアの実践 - 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	行っている。2階ではできる限り階段の踊り場への扉を開放し、自由に過していただけるように努力している。スタッフの手が足りないときはドアを閉めるが、施錠はしない。ベランダへもいつでも出ることができる。スタッフ同士で声を掛け合ってケアに取り組んでいます。居室は終日、玄関は日中鍵をかけていない	○	
67	- 利用者の安全確認 - 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	行っている。実際には転倒の事故報告も多く、見守りきれていないことが多い。昼夜利用者の所在把握。声かけ行いリビングには常にスタッフ一人居るようにしている。夜間の巡回、昼間もどこに居ても自由だが常に居場所を把握している	○	本人の居室に入ってしまうと目が行き届かないため、スタッフ同士声を掛け合い、こまめに訪室している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
68	○ 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	○ 行っている○裁縫道具を持っている方もみえる ○ 保管・管理はスタッフ同士で連絡をしつつ行っている○外出や受診後にご家族が持ち込まれた薬については確認させていただいている○注意しなくてはいけないものは目の届かないところにおいている		○ 連絡ミスもあり、更なる注意力が必要
69	○ 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	○ ひやりはっと、事故報告書を書き、同じことが起こらないように又、おきてしまったときのマニュアルがある○危機感を持って勤務についているが、一瞬の出来事も起こりうることもある。更なる注意が必要○ひやりはっと、事故報告書	○	○ 吸引器の練習を看護師から直接学ぶことができるが、定期的な機会がなく扱いに不安がある○スタッフ同士の声かけや慣れ、気の緩み、スタッフの体調管理も関わっていると思う○いろいろな場合の対応を把握して応急手当ができるように勉強していきたい
70	○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	○ マニュアルがある○誤嚥時に吸引器の使用○体調の変化を早めに申し送り対応につなげる○急変時の手順や連絡先が壁の良く見えるところに貼ってある○定期的に避難訓練を行っている○地域とのつながりも広がっているように思う		
71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○ 避難訓練を行っている○地域とのつながりも広がっている感がある	○	○ 夜間の避難方法についてももっと細かい打ち合わせが必要
72	○ リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	○ 管理者が折に触れて家族と行っている○面会に見えたご家族の方には日常の様子聞かれたらお話している。また、重要な報告やネガティブな話は管理者・フロアー長よりしてもらっている○事故発生後は早急に家族へ連絡している	○	○ 利用者一人ひとりのアセスメントに目を向けて行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○ 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○ 申し送りの際に行っている。気づいたときには当日勤務者に伝え相談し早めの対応に努めている ○ 身体の変化など日中気付いた際に対応し、変化を伝達。記録や申し送りノートに残しております ○ 緊急対応報告書。朝夕のバイタル測定	○	○ 確実に申し送りが出来ないこともあり、気をつけて行きたい
74	○ 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○ 個々の薬の内容を書いたファイルが作っており、内服の内容が変わるたびに更新されている。薬チェック表をみながら一人の職員でセットをする事になっている、その後にもう一人の職員が確認をする。薬の変化時は申し送りや連絡帳にも記入されており気をつけている。薬の個包装に名前、日付、を記入し読み上げる	○	○ 薬が変わったときや変化が見られるときに確実に記録に残していくようにしたい。更なるチェックの為に、各フロアー勤務者で交互に確認をするようにして欲しい
75	○ 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○ 食事・水分量・運動に注意をしている。運動（日光浴・買い物・ラジオ体操等）にて身体を出来るだけ動かすように取り組んでいます。この便秘の状況を全ての職員が把握できるように申し送りの事項に入れている。ここの必要な運動を行っている	○	○ なかなか便秘がなくなるのでもっと注意が必要。便秘解消となる体操や食事療法も学んでみたい
76	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	○ 食後の口腔ケアを徹底している。最近になり口腔ケアを徹底するようにしているが、自立している入居者へは目が行き届いていない。毎食後、口腔ケアの介助または声かけをしている	○	○ 目が行き届いていない人たちにも声をかけ、自立を損なわない程度に確認をしていきたい
77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○ 個々にあわせた量にしている。みんな同じものではなく、食事が進まないときは代替食を提供している。栄養バランス、水分摂取、日常の声かけ取り組んでいます。食事量、水分量の記録	○	○ 代替食をどのタイミングで提供するべきかの判断がスタッフ単位ではできないので、ラインを決めたりスタッフ独自のアイデアで対応ができるようにしたい。同じような食事だけだと食事つまらないので、環境を変えたり、器を変えるなどでの楽しみも提供したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○マニュアルがある○手洗い、うがい（外出後）スタッフも出勤時トイレのほうの消毒、清掃をしている○インフルエンザの予防接種など		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	○まな板等の消毒、手洗い、手指消毒を行っている○賞味期限や熱を使って調理、新鮮なうちに食材を使うなど工夫している○あまり買いだめをせずこまめに買い物に行っている○調理時の保管の仕方なども考慮している	○	○長時間食材を放置しないようにしている○食中毒に気をつけて行きたい○冷蔵庫の中もいつも整理と清掃に気を配りたい
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○玄関周りに花を植える等し、暖かい雰囲気作りをしている○車椅子移動しやすい玄関周りに十分工夫してあります○日中は玄関をオープンにしている○花を育て明るい雰囲気作りをしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○季節の花や行事の飾りをしている○自然の光を十分に取り入れるように大きな窓がある○リビングとキッチンが一体となっていて自然と家事に参加できる○居室には家族との写真が飾られたり、階段の踊り場にもご家族との写真が飾られて、入居者との会話のきっかけにもなりはなしが弾む		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	○ソファや畳等で自由に過していただいている○リビングにはソファや畳が配置してあり、居心地の良い空間作り工夫してあります○時々配置換えをスタッフが行っている○畳のところでは入居者が洗濯物をたたんだり、昼寝をしたりとくつろいでいる○その人により、テーブルを囲んで話をしたり、ソファでくつろいだりそれぞれ自由に移動もされている	○	○時々どこに居てよいかわからなくなる方に対して、居場所作りの働きかけを早めに行っていけたらと思います

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○使い慣れたたんす等を持ってきていただいている○居室に遺影や位牌を置いて、毎朝おまいりをされる方もいる○実施します○それぞれの寝具を使用(ベッドに統一される事はない)		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	○換気を行い、外気との差があまりないように温度調整を行っている○空気の喚起、冬場においても一日に何度も行っている○できる限り窓を開けている○日中は換気扇も強にしている(夏期のみで冬季は24時間弱にて運転)	○	○少しの時間でもできるようにしていきたい
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	○工夫してある○バリアフリー設計○手すりの設置		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	○トイレがわかりやすいよう書いてある○居室の戸にもわかりやすく名前が書いてある○声かけ、適度な運動暮らしやすい場所、少しずつ工夫しています○家事は利用者と共にし、頼める事はお願いしてお互いに協力し合い相談しあい生活している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	○庭、プランターに花・野菜等を植えている○日光浴ができるベンチ、パラソルが用意されている○日当たりの良い建物で2階ベランダを利用しておやつを食べたりしている○数人で洗濯物を干す事ができる広いベランダがある○朝夕の水遣りを一緒に楽しんでいる○全員で定期的にバーベキューなどができる	○	○おやつやの時間や昼食を日当たりのいいベランダで行えるようにしていきたい

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○できる事はできるように、やりたいことがやれるように。をモットーに人としての当たり前の暮らしの支援に心掛けている。その分、レクの事は少ないが家事と一緒にするなど入居者の方の生活支援は出来ていると思う。入浴も毎日お湯を沸かす事で好きな時に入る事ができている。